

# 平成30年度

# 決算

## 一般会計

歳入 120億4193万5千円

**地方交付税 (23.2%)**  
27億9654万8千円  
一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されたお金

**町税 (30.8%)**  
37億1052万4千円  
町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税

**町債 (10.4%)**  
12億4647万4千円  
建設事業などに対して借り入れたお金

**繰越金 (4.4%)**  
5億3432万8千円  
前年度からの繰越金

**国庫支出金 (10.0%)**  
12億940万4千円  
国からの補助金など

**使用料及び手数料 (1.9%)**  
2億2550万1千円

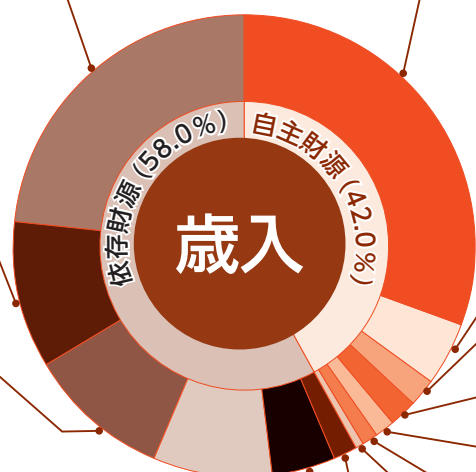
**県支出金 (8.2%)**  
9億8399万円  
県からの補助金など

**繰入金 (1.8%)**  
2億1749万1千円  
基金の取り崩し

**地方消費税交付金 (4.4%)**  
5億3429万2千円  
皆さんが納めた地方消費税のうち町に交付されたお金

**諸収入 (1.4%)**  
1億6792万5千円

**分担金及び負担金 (1.3%)**  
1億5138万6千円



**地方譲与税ほか (1.8%)**  
2億1369万1千円

**寄附金ほか (0.4%)**  
5038万1千円

## 平成30年度会計別決算

(▲はマイナスを表す)

### 一般会計・特別会計

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	120億4193万5千円	113億8288万7千円	6億5904万8千円	
特別会計	国民健康保険特別会計	39億1807万9千円	32億5879万8千円	6億5928万1千円
	後期高齢者医療特別会計	4億9162万9千円	4億8220万8千円	942万1千円
	介護保険特別会計	29億5375万円	27億9460万4千円	1億5914万6千円
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	1366万1千円	1215万2千円	150万9千円

### 企業会計

会計名	収入額	支出額	差引額	
水道事業会計	収益的収入及び支出	8億6729万6千円	8億9879万円	▲3149万4千円
	資本的収入及び支出	1億8188万6千円	3億1390万4千円	▲1億3201万8千円
下水道事業会計	収益的収入及び支出	11億2009万7千円	10億6670万8千円	5338万9千円
	資本的収入及び支出	7億3136万2千円	10億2168万円	▲2億9031万8千円

平成30年度の決算が、町議会第3回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金などが住みよいまちづくりなどのよに使われたのか、その概要を紹介します。

図 財政課財政係 ☎ 34・2072

性質別歳出

**扶助費 (17.9%)**  
20億 4171万円  
高齢者、障がい者、児童への援助など

**補助費等 (17.2%)**  
19億 5343万 9千円  
一部事務組合への負担金や各種団体補助など

**人件費 (16.4%)**  
18億 6925万 4千円  
職員の給与、議員報酬など

**物件費 (14.5%)**  
16億 5021万 4千円  
委託料、光熱水費、事務用品などの消費的な支出に

**公債費 (10.6%)**  
12億 709万 8千円  
町債の返済など

**普通建設事業 (10.5%)**  
11億 9659万円  
道路や施設の建設など

**繰出金 (9.9%)**  
11億 2760万 3千円  
他会計への支出

**積立金など (3.0%)**  
3億 3697万 9千円

**歳出合計**  
113億 8288万 7千円

歳出 113億 8288万 7千円

**商工費 (0.4%)**  
4492万 6千円  
商工業、観光の振興など

**議会費 (1.2%)**  
1億 3333万 8千円  
議会の運営

**農林水産業費 (3.1%)**  
3億 5128万 2千円  
農業振興、生産基盤整備など

**消防費 (5.2%)**  
5億 9675万 6千円  
消防、防災など

**公債費 (10.6%)**  
12億 709万 8千円  
町債の返済など

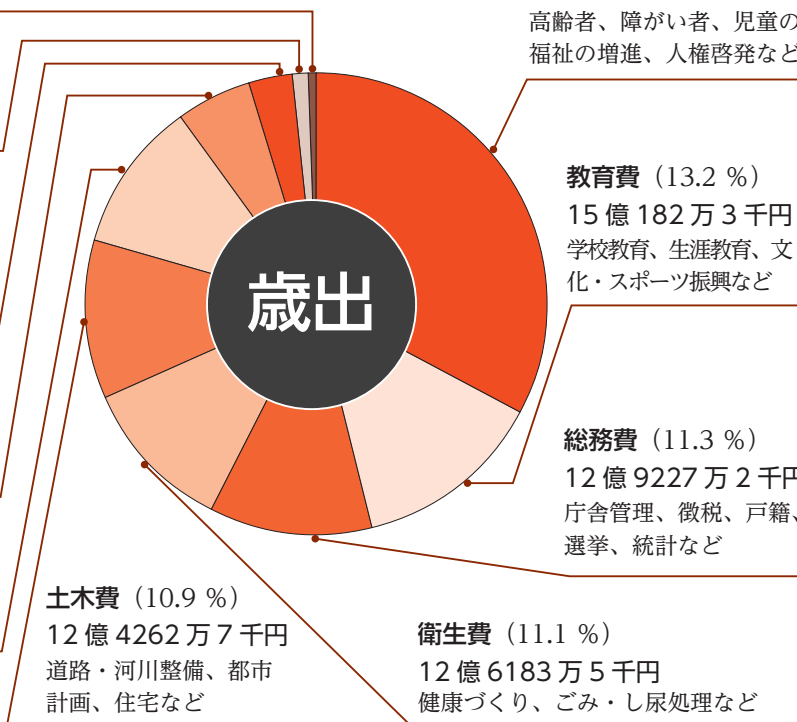
**土木費 (10.9%)**  
12億 4262万 7千円  
道路・河川整備、都市計画、住宅など

**衛生費 (11.1%)**  
12億 6183万 5千円  
健康づくり、ごみ・し尿処理など

**民生費 (33.0%)**  
37億 5093万円  
高齢者、障がい者、児童の福祉の増進、人権啓発など

**教育費 (13.2%)**  
15億 182万 3千円  
学校教育、生涯教育、文化・スポーツ振興など

**総務費 (11.3%)**  
12億 9227万 2千円  
庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計など



一般会計

実質収支は

6億 4560万 2千円の黒字

一般会計は、歳入歳出差引額が6億5904万8千円となり、翌年度に繰り越すべき財源1344万6千円を除くと、実質的な黒字は6億4560万2千円となりました。前年度と比べると、唐古・鍵遺跡史跡公園や道の駅の整備、新清掃工場にかかる建設負担金など大型の事業が平成29年度で終了したことから、歳入では、町債が約12億300万円、国庫支出金が約3億4300万円減少し、歳出でも、教育費が約6億9100万円、衛生費が約8億9500万円、土木費が約7億4700万円減少しました。

特別会計

4つの会計決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、4つの特別会計の決算額は右表のとおりです。

水道事業会計

収益的収支は

3931万 5千円の赤字

独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。決算額は右表のとおりです。収益的収支は、県営水道100%転換となり受水量が増えたことなどから、損益計算による当年度純損失が3931万5千円生じ赤字決算となりました。なお、資本的収支は1億3201万8千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

下水道事業会計

収益的収支は

4476万 9千円の黒字

下水道事業は、平成30年度から地方公営企業法の財務規定等を適用した公営企業会計に移行しました。決算額は右表のとおりです。収益的収支は損益計算による当年度純利益が4476万9千円生じ黒字決算となりました。なお、資本的収支は2億9031万8千円の不足が生じたため、損益勘定留保資金などで補填しました。

まちの将来像〜子どもから高齢者まで誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまちたわらもと〜の実現に向けて

# 平成30年度実施事業の紹介

## 1 子育ての願いをかなえるまちづくり

### 中学校給食施設等建設事業

1億1261万2千円（平成30年度決算額）

平成30年度・令和元年度の2カ年事業により田原本中学校・北中学校の自校方式の給食調理施設及び配膳棟を建設し、令和元年度2学期から中学校給食を開始しました。



北中学校給食棟



田原本中学校給食棟

### 平野幼稚園園舎耐震補強等事業

1億1773万2千円

園舎の耐震補強工事及び老朽改修工事を実施し、園児の安全の確保及び保育環境の改善を図りました。また、平野幼稚園は平成31年4月より3歳児から5歳児の保育認定の子どもが通える幼稚園型の認定こども園としてスタートしました。

### 小規模保育事業

8637万1千円

待機児童を解消するため、特に二歳以下の多い0歳児から2歳児の保育の受け皿として、小規模保育事業所を募集し、整備に対する補助を行い、今年4月に田原本すこやか保育園、さわやか保育園が開園しました。

## 2 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり

### 地域包括支援センター事業（高齢者施策）

4338万3千円

高齢者の皆さんがいきいきと住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康・医療など、さまざまなサービスを実施しました。

## 3 潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり

### 唐古・鍵遺跡史跡公園の運営

5209万7千円

昨年4月にオープンした唐古・鍵遺跡史跡公園では、弥生のムラまつりやフォトコンテストなどのイベントを行ったほか、公



園内に弥生時代の風景を再現するARアプリを開発しました。  
中央体育館広場遊具設置事業

797万円

中央体育館敷地内の広場にある老朽化した遊具を撤去し、新たな遊具を設置しました。

## 4 安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

### 道路新設改良事業

2億5698万2千円

国道24号、国道24号バイパス線、主要県道などの近隣の地方道や広域道路ネットワークに連携した機能的な道路網の構築を図るため、唐古西代線や十六面黒田線などの道路改良工事を行いました。

### タワラモトンタクシー利用料金助成事業

1653万6千円

高齢者などの移動手段の確保と利便性の向上を目的として、一般タクシーの初乗り運賃相当額を助成するタワラモトンタクシーの運行を開始しました。

### 一般下水路事業

8822万円

内水被害を減らすための治水対策として、西竹田地区の雨水調整池整

備工事や、西竹田地区や小阪地区などで、河川の増水時に支流への逆流を防止するための樋門設置工事などを行いました。

### 水仙会館解体・防火水槽設置事業

5183万6千円

水仙会館を解体し、新たに防火水槽を設置しました。

## 5 賑わいと活力あふれるまちづくり

### 農業基盤対策事業

2億2073万6千円

良好な田園の維持と効率的な農業の推進を図るため、農道やため池の整備などを行いました。

### 企業等の誘致・立地推進事業

241万4千円

産業の基盤強化と発展及び雇用の創出を図るために、町内に立地する企業の支援を行いました。

## 6 住民とともに実現するまちづくり

### ふるさと応援寄附金推進事業

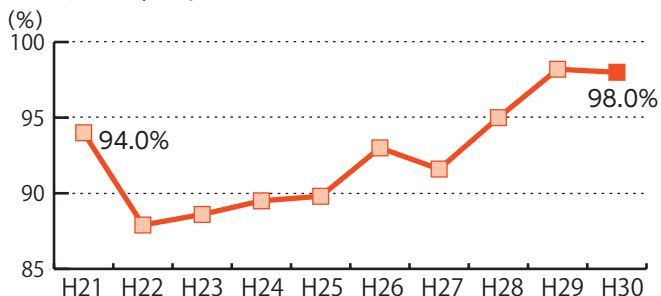
1545万2千円

特典商品の拡充による、地域事業者の販路拡大などを行い、地域産業の活性化や町のPRを推進しました。

## 指標でみる財政状況

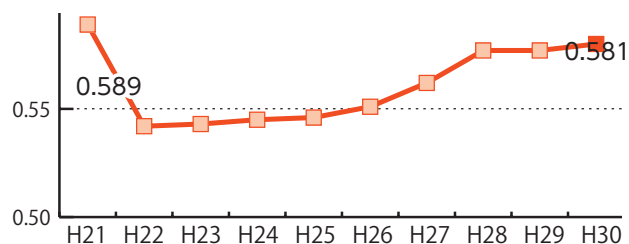
### 経常収支比率 98.0%

財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。平成 30 年度は、地方消費税交付金などの歳入が増加したことなどから、前年度に比べ 0.2 ポイント下がりました。



### 財政力指数 0.581

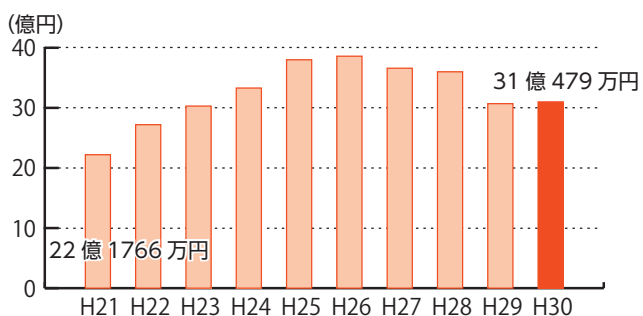
標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。



### 基金残高 31 億 478 万 8 千円

普通会計には、純粋な貯蓄といえる財政調整基金や減債基金、また、特定目的のための福祉基金・ふるさと応援基金があります。

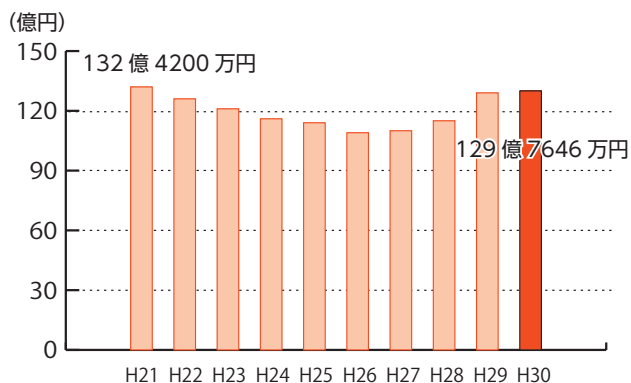
平成 30 年度は、新ごみ処理施設整備に係る町債の返済のために交付された県補助金約 2 億 200 万円を今後を活用するため減債基金に積み立てたほか、財政調整基金を約 1 億 6600 万円取り崩したことから、基金全体では前年度に比べ約 3600 万円増加しました。



※普通会計とは、一般会計と特別会計のうち該当するものを合わせた会計で、本町では平成 30 年度は一般会計のみです。

### 町債残高 129 億 7645 万 7 千円

普通会計の町債残高は平成 16 年度をピークに毎年減少してきましたが、新清掃工場などの大型事業の実施に伴い平成 27 年度に増加に転じ、平成 30 年度についても中学校給食施設の整備や幼稚園園舎の耐震化、道路新設改良事業や清掃工場の解体などに町債を活用したことから、前年度に比べ約 1 億 400 万円増加しました。



### 健全化判断比率

町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標です。いずれの指標も国の基準を下回りましたので良好な状態にありますが、引き続き一層の財政健全化に取り組んでいきます。

指標	田原本町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.01%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.01%	30.00%
実質公債費比率	7.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	76.9%	350.0%	—

※赤字額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は「—」表示となります。

#### 用語説明

・**実質赤字比率**…標準的な収入に対する普通会計の実質的な赤字の割合  
 ・**連結実質赤字比率**…標準的な収入に対する全会計の実質的な赤字の割合  
 ・**実質公債費比率**…標準的な収入に対して普通会計が負担する実質的な借入金の返済の割合  
 ・**将来負担比率**…標準的な収入に対して普通会計が将来負担すべき負債の割合

### 資金不足比率

地方公営企業の資金不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示すものです。水道事業会計・下水道事業会計はともに資金不足額がないため該当はなく指標上は問題ありませんでした。

特別会計名	田原本町	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

※経営健全化基準とは、早期健全化基準に相当する基準です。  
 ※資金の不足額がないため、資金不足比率は「—」表示となります。